

Die Uhrzeit (時刻)

時刻表現は多くありますが、約束するときや特定の時刻について語るときにドイツの日常生活でよく使われる表現を紹介します。また特に間違いやすい点について注意します。

- **名詞 Uhr**

女性名詞として「時計」という意味もありますが、時刻を言う時には「3 時」の「時」に当たります。その場合は冠詞を付けません。drei Uhr, sechzehn Uhr など。

drei Uhr: 午前 3 時又は午後 3 時

sechzehn Uhr: 午後 4 時

- **前置詞 um**

日本語の時刻表現の「に」に当たるドイツ語の単語は前置詞 **um** です。日付 (an/am を使う) と週・月・年などを指す表現 (in/im を使う) の場合と違うので注意してください。

um sechzehn Uhr: 午後 4 時に

- **前置詞 vor, nach**

特定の時刻に近い時間をいう時に使う表現、例えば

(um) zwanzig [Minuten] vor zwölf [Uhr]: (午前又は午後) 11 時 40 分 (に)

(um) zehn [Minuten] nach drei [Uhr]: (午前又は午後) 3 時 10 分 (に)

注 [] に囲まれた単語を省略してもよい。

- **副詞 morgens, vormittags, mittags, nachmittags, abends, nachts**

英語の am, pm に当たるドイツ語の単語はありません。時間を 12 時間方式でいう時に、例えば「5 時」は朝の 5 時を指すのか、夕方の方の 5 時を指すのか、明らかにするために以上のような副詞を使います。どの副詞を使うかは生活習慣によって、または季節によっても変わりますので、あくまでも大体の定義しかありません。

morgens: 日の出前後、日常生活で起きる時間から仕事を始める時間まで、5:00~10:00 位

vormittags: morgens が終わってから昼食まで、9:00~12:00 位

mittags: 太陽が南に位置する時、昼食を食べたり昼休みしている時間、11:30~14:00 位

nachmittags: mittags が終わってから abends になるまで、13:00~18:00 位

abends: 日の入前後、夕食時間から寝るまで、17:00~23:00 位

nachts: 日の入から日の出まで、人が寝る時間、22:00~6:00 位

これらの副詞は時刻表現の前または後に置かれるが、それぞれの使い方に制限があります：

abends um sieben [Uhr]: 午後 7 時に (um を使う場合のみに使われる語順です)

(um) sieben Uhr abends: 午後 7 時 (に) (この表現では Uhr を省略しません)

- **名詞 (das) Viertel**

「四分の一」という意味ですが、ここでは一時間の四分の一、つまり 15 分を指します。時刻の表現ではよく vor と nach とともに使われ「15 分前」または「15 分後」を意味します。

morgens um Viertel vor zehn [Uhr]: 9 時 45 分に

morgens um Viertel nach zehn [Uhr]: 10 時 15 分に

注：この表現では Uhr を省略することが多いです。また、一部の地方ではこの表現があまり使われておらず、代わりに以下の viertel, dreiviertel が使われています。

- 副詞 viertel, halb, dreiviertel

時間を表す数詞の前に置かれ、その時間が「まだ完全になっていない」意味を指します。従って以下ようになります。この表現では Uhr を常に省略します。

morgens um viertel zehn: 9 時 15 分に

morgens um halb zehn: 9 時 30 分に

morgens um dreiviertel zehn: 9 時 45 分に

morgens um zehn: 10 時に

注：この場合は viertel が副詞なので小文字で書きます。halb を使った表現はどこでも非常に頻繁に聞かれます。それに対して、上にも述べたように、Viertel vor/nach という表現が好まれる地方と、副詞 viertel/dreiviertel を使った表現が好まれる地方があります。しかし、さまざまな出身者が混ざる大都市などでは両方とも聞かれるので、間違っず解釈しないように注視しましょう。また、ドイツ語の halb zehn (9:30) を英語の half past ten (10:30) と意味が違います。以下に主な表現を並べました。ドイツ人と約束する時にお間違いのないように！

viertel zehn: 9:15 Viertel vor zehn: 9:45 Viertel nach zehn: 10:15 dreiviertel zehn: 9:45

- 時刻表などを読む時に使う表現

日常生活でもこの表現を使う人はいますが、時刻表などを読む時に必ず 24 時間方式を使って、以下のように読み上げます。読み方は書かれる順番と違うので注意して下さい。この表現を書く時には時間と分を表す数字の間にコロンを書く。表記では Uhr という単語を省略する場合もあるが、それが書かれても書かれなくても、読み上げる時には必ず「X Uhr Y」（X は時間、Y は分）という順で、「Uhr」を省略せずに発音します。

0:00 [Uhr] (読みは null Uhr または null Uhr null。:00 の場合、分を読み上げないのが多い。)

0:27 [Uhr] (読みは null Uhr siebenundzwanzig)

22:01 [Uhr] (読みは zweiundzwanzig Uhr eins)

24:00 [Uhr] (読みは vierundzwanzig Uhr。電車の到着時刻等として使われます。出発時刻としては 0:00 になります。到着が 1 分でも遅くなると 24:01 ではなく 0:01 になります。)

- 12 時間方式と 24 時間方式の特徴と使い分け

24 時間方式を使う時には Uhr という単語を決して省略しません。仮に書かれた文章に省略されても、読み上げる時に省略してはなりません。

12 時間方式では 0 Uhr という表現を使わず必ず 12 Uhr と言います。従ってお昼の 12 時をドイツ語ではいずれの方式でも 0 Uhr と言えないし、そのように書かれることもありません。

vor, nach, Viertel, viertel, halb, dreiviertel を含む表現は決して 24 時間方式を使いませぬ。12 時間方式に限って使われる表現です。

それ以外の場合は日常生活でも 24 時間方式がかなり普及しています。„Wir treffen uns um 16 Uhr.“ (午後四時に約束している) という表現も、また „Das Konzert beginnt abends um zwanzig Uhr.“ (演奏会は夜の 20 時に始まる) という余剰的な表現もよく聞かれます。

スーパーの閉店時刻として、日本では「25:00」のような、24:00 を超えた表現も見られますが、ドイツでは決して使われませぬ。24:15 という書き方も誤りで、0:15 が正しい表記です。

- 上記の複数の表現を混ぜた表現

viertel, halb, dreiviertel を使った表現には fünf vor, fünf nach などを重ねる場合があります。特に halb を使う表現ではそれが非常に一般的に使われますが、viertel や dreiviertel とともに使う人もいます。

nachmittags um fünf [Minuten] vor halb vier: 15 時 25 分に

morgens um fünf nach dreiviertel sieben: 午前 6 時 50 分に

ちなみに Viertel vor と Viertel nach を含む表現にさらに fünf vor, fünf nach を重ねると紛らわしいので、一般的ではありません。